

まちづくり総合会議について

【役割等】

市の施策や計画の進捗状況についてご意見をいただきます

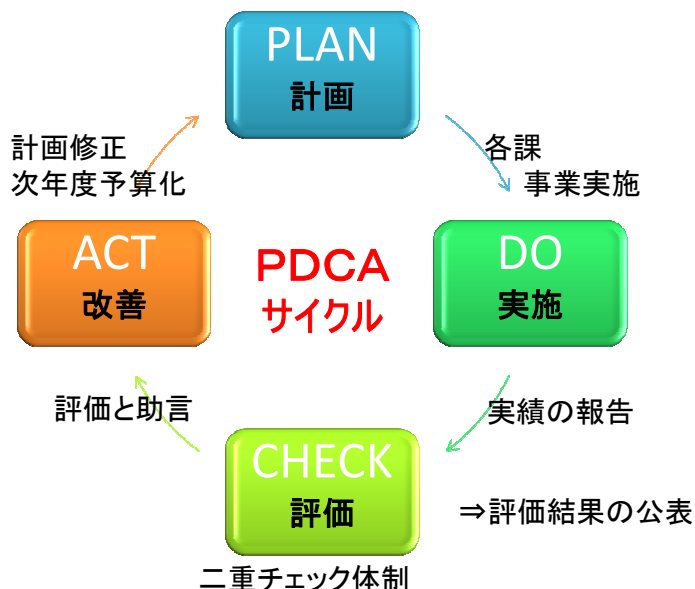
- 産・官・学・金・市民のそれぞれの視点
- 客観性・信頼性を高める外部の視点

1. 第5次見附市総合計画の進捗評価・検証 … 2の(1)
2. 見附市総合戦略の進捗評価・検証および計画の見直し … 2の(2)
3. 地方創生関係交付金事業の評価・検証 … 2の(3)
4. 見附市健幸づくり推進計画の評価・検証 … 2の(4)
5. SDGs未来都市計画の評価・検証 … 2の(5)

【任期】 2年（R2.4.1～R4.3.31）＊年2回程度開催

※令和2年度については、見附市総合計画・後期基本計画の策定のため、「まちづくり総合審議会」として開催

【事業実施のPDCAサイクルのイメージ】



①まちづくり総合会議での進捗評価・検証

②庁内での評価・検証

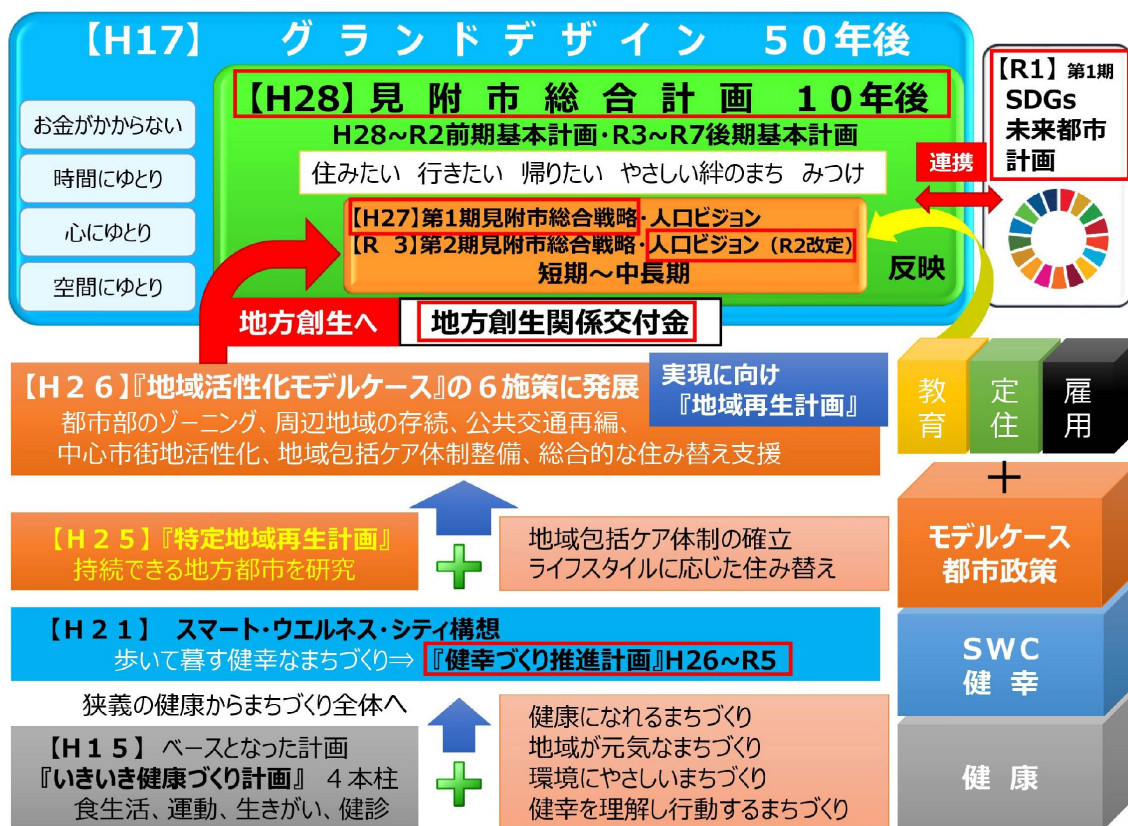
・一次評価(各課)

・二次評価(行政評価委員会(＊))

＊ 副市長、教育長、部長級職員で構成

見附市のまちづくり計画の体系

1. 見附市のまちづくり計画の体系



2. 計画などの概要

(1) 第5次見附市総合計画

市政運営の方向性を示す最上位計画

- ①計画期間：平成28年～令和7年（10年（前期H28～R2/後期R3～R7））
- ②基本理念：住みたい 行きたい 帰りたい やさしい絆のまち みつけ
- ③都市の将来像：スマートウェルネスみつけ
～住んでいるだけで健康で幸せになれるまち～
- ④基本目標：
 - ・人と自然が共生し健やかに暮らせるまち
 - ・産業が元気で活力あるまち
 - ・安全安心な暮らしやすいまち
 - ・人が育ち人が交流するまち

(*) 見附市人口ビジョン (R2改定)

地方創生を進めるため、人口の現状・将来の展望（目標）を示したもの

○見附市の目標

国の将来推計 2040年：30,908人 ⇒ 見附市の目標 2040年：32,086人

+1,178人

○推定目標値

- ①出生数250人 (R3～R6)、②社会動態40人改善 (20代、30代)

(2) 第1期見附市総合戦略

地方創生、人口ビジョン(*) 達成に向けた「まち・ひと・しごと」に関連する戦略

※R2年度に第2期総合戦略を総合計画に包含し策定。計画期間：R3～R7

①計画期間：平成27年～令和2年（6年）

②計画の方向性：「スマートウェルネスみつけの推進」に向けた4つの柱を設定

- ・地域活性化モデルケースの伸展
- ・人が育ち人が交流するまちづくり
- ・産業が元気で活力あるまちづくり
- ・選ばれるまちづくり

(3) 地方創生関係交付金

- ・自治体の地方創生の取組（自主的・主体的で先導的なもの）を国が財政支援する制度
- ・KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援

(4) 見附市健幸づくり推進計画

スマートウェルネスみつけを推進するための計画

①計画期間：平成26年～令和5年（10年）

- ②主要な施策：
- ・いきいき健康づくり
 - ・健康になれるまちづくり
 - ・地域が元気なまちづくり
 - ・環境に優しいまちづくり
 - ・健幸を理解し行動するまちづくり

(5) 第1期SDGs未来都市計画

国の公募への全国の自治体の提案の中から、見附市の提案が「SDGs未来都市」(31自治体)、「SDGsモデル事業」(10自治体)に選定。

それを受け、SDGsの実現に向けて、見附市の今後3か年の取組を具体化した計画。

①計画期間：令和元年～3年（3年）

②将来ビジョン：住んでいるだけで健康で幸せになれる健幸都市の実現

～「歩いて暮らせるまちづくり」ウォークアブルシティの深化と定着～

③取組内容の概要：(経済) 出かけたくなる場所の創出

業績指標 KPI 設定

(社会) 歩きたくなる、歩いてしまう歩行環境の整備

都市機能の集約、まちのコンパクト化

(環境) 過度な自家用車依存から脱却するための公共交通の整備

自然災害への備え

・上記三側面をつなぐ統合的取組み(グリーンスローモビリティの検討等)



SDGsの17のゴールの内、
見附市の計画で取組みの
指標に設定したもの